

フランクリン・テンプレトン・グローバル・プラス (毎月分配型)

追加型投信／海外／資産複合

交付運用報告書

第233期(決算日2023年 5 月 8 日) 第234期(決算日2023年 6 月 8 日) 第235期(決算日2023年 7 月10日)
第236期(決算日2023年 8 月 8 日) 第237期(決算日2023年 9 月 8 日) 第238期(決算日2023年10月10日)

作成対象期間(2023年4月11日～2023年10月10日)

第238期末(2023年10月10日)	
基準価額	11,128円
純資産総額	23,940百万円
第233期～第238期	
騰落率	7.6%
分配金(税込み)合計	90円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は四捨五入して表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「フランクリン・テンプレトン・グローバル・プラス(毎月分配型)」は、2023年10月10日に第238期の決算を行いました。

当ファンドは、毎月の分配と中長期的な信託財産の安定成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

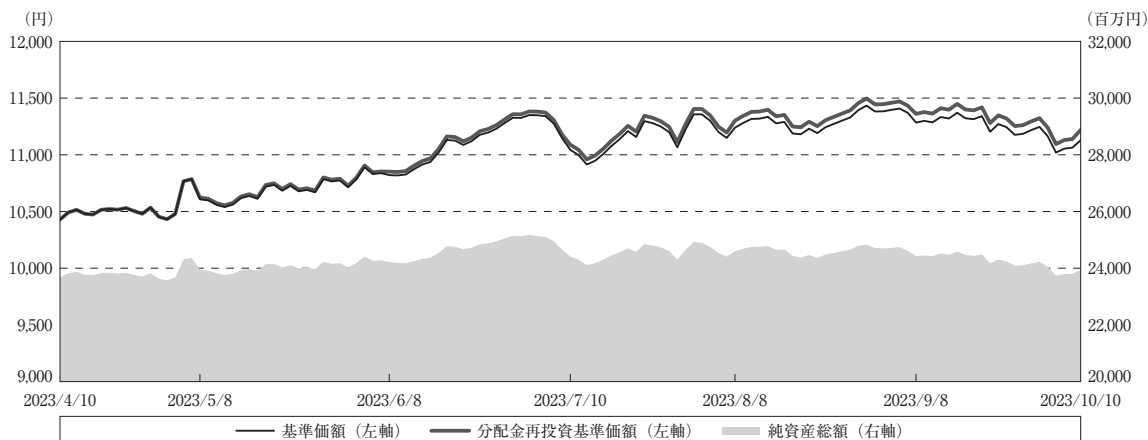
(営業日の9:00～17:00)

<https://www.franklintempleton.co.jp>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2023年4月11日～2023年10月10日）



第233期首：10,429円

第238期末：11,128円（既払分配金(税込み):90円）

騰落率：7.6%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2023年4月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス（分配金再投資ベース）となりました。株式損益や為替要因がプラス寄与となりました。一方、公社債損益はマイナス寄与となりました。

1万口当たりの費用明細

（2023年4月11日～2023年10月10日）

項 目	第233期～第238期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	73 (35) (34) (4)	0.660 (0.314) (0.308) (0.038)	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式) (投資証券) (先物・オプション)	2 (2) (0) (0)	0.020 (0.017) (0.000) (0.003)	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式) (投資証券)	0 (0) (0)	0.003 (0.003) (0.000)	(c) 有価証券取引税 = 作成期間の有価証券取引税 ÷ 作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用) (そ の 他)	2 (1) (0) (1) (0)	0.016 (0.008) (0.003) (0.005) (0.000)	(d) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用 金銭信託預入に係る手数料等
合 計	77	0.699	
作成期間の平均基準価額は、11,075円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

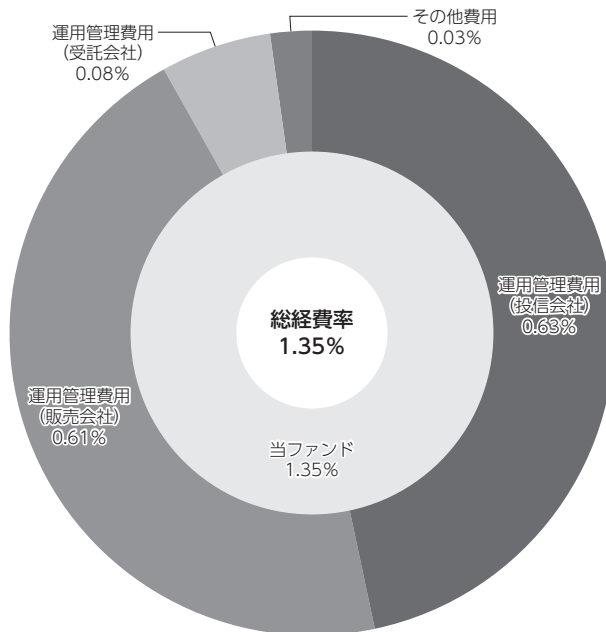
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.35%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

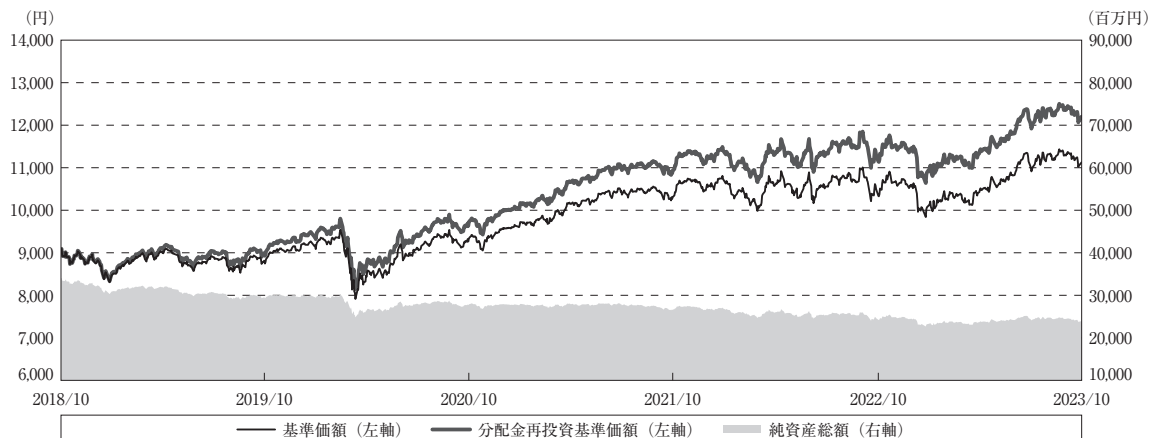
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2018年10月9日～2023年10月10日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2018年10月9日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年10月9日 決算日	2019年10月8日 決算日	2020年10月8日 決算日	2021年10月8日 決算日	2022年10月11日 決算日	2023年10月10日 決算日
基準価額 (円)	9,082	8,814	9,325	10,309	10,340	11,128
期間分配金合計(税込み) (円)	-	180	180	180	180	180
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△ 0.9	7.9	12.6	2.0	9.4
純資産総額 (百万円)	34,045	29,537	27,850	26,639	24,234	23,940

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

投資環境

（2023年4月11日～2023年10月10日）

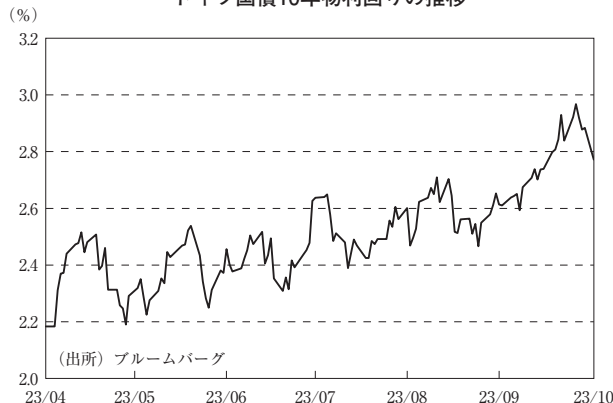
当作成期の米国債券市場は、利回りが上昇（価格は下落）しました。期の前半は、米地方銀行の経営を巡る不透明感がくすぶる中、投資家のリスク選好姿勢が抑えられ、相対的に安全とされる米国国債が買われたことで、利回りの上昇は限定的となりました。その後は、米国の債務上限問題を巡って与野党が合意できるとの楽観が広がり、利回りは上昇しました。期の半ばは、米連邦準備制度理事会（FRB）による追加利上げの可能性が意識されたことや、2023年4-6月期の米国国内総生産（GDP）の結果が市場予想を上回り、米国景気の堅調さが示されたことなどが利回りの上昇要因となりました。期の後半は、9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で政策金利が据え置かれたものの、経済や政策金利の見通しにおいてタカ派的なメッセージが打ち出されたことに加え、原油先物価格が上昇したことや、全米自動車労働組合（UAW）のストライキを巡り、インフレリスクが意識されたことなどを背景に、利回りは上昇しました。

当作成期の欧州債券市場は、利回りが上昇しました。期の前半は、欧州中央銀行（ECB）による金融引き締めや、米国の地方銀行の経営不安、米国の債務上限問題を巡る思惑が交錯する中、利回りは一進一退となりました。期の半ばは、インフレの高止まりを背景にECBが利上げを継続するとの観測が強まった場面で、利回りは上昇しました。一方、中国の2023年4-6月期GDPの結果が市場予想を下回り、世界景気への影響が懸念されたことなどが利回りの低下（価格は上昇）要因となりました。期の後半は、ECBの調査で消費者のインフレ期待が上昇し、ECBによる追加利上げ観測が高まったことや、FRBやイングランド銀行（英中央銀行、BOE）が政策金利を据え置いたものの、さらなる利上げの可能性を示唆し、米国および英国で国債利回りが上昇したことなどから、ドイツの国債利回りも上昇しました。

米国国債10年物利回りの推移



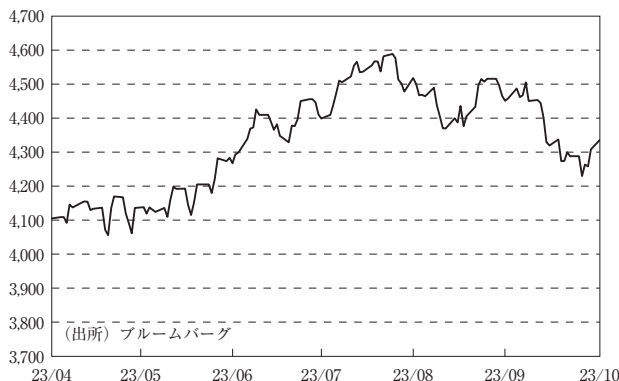
ドイツ国債10年物利回りの推移



で国債利回りが上昇したことなどから、ドイツの国債利回りも上昇しました。

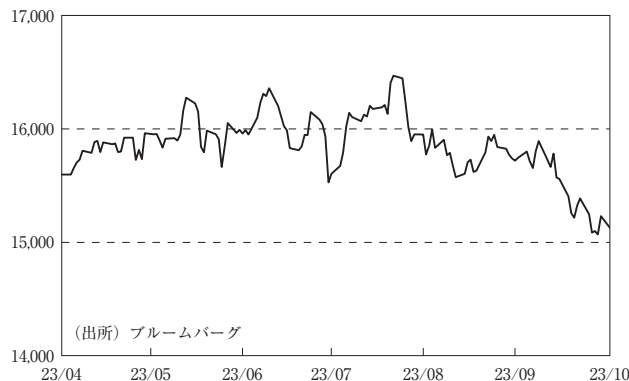
当作成期の米国株式相場は、総じて上昇しました。期の前半は、米地方銀行の経営を巡る不透明感がくすぶる中、投資家のリスク選好姿勢が抑えられ、株価は冴えない値動きとなりました。期の半ばは、FRBの金融引き締めが長期化すると観測が株式相場の重石となった一方、人工知能（AI）銘柄の将来性に対する期待感から半導体関連銘柄などのハイテク株が上昇したことが相場を押し上げる要因となりました。その後は、格付け会社フィッチ・レーティングスが米国国債の格下げを発表したことなどから、株価は下落しました。期の後半は、米購買担当者景気指数（PMI、速報値）が低調で、FRBが金融引き締めを長期化するとの見方が後退したことなどから、株価は一時的に回復しました。しかしその後は、2023年9月のFOMCでタカ派的なメッセージが打ち出され、米国国債利回りが上昇したことが株価バリュエーションへの逆風となり、株価は下落しました。

米国S&P500指数の推移



当作成期の欧州株式相場は、下落しました。期の前半は、米地方銀行の経営不安がくすぶる中、投資家のリスク選好姿勢が抑えられ、株価は上値の重い展開となりました。その後、ECBが政策決定において利上げ幅を縮小したことなどから、利上げ打ち止めが近いとの見方が市場で広まったことや、米連邦政府の債務上限問題を巡る楽観的な見方が強まったことなどを背景に、株価は上昇する場面がありました。期の半ばは、ECBの金融引き締め長期化によるユーロ圏景気への影響が懸念されたことで株価が一時下押しされましたが、その後のECB理事会を経て金融引き締めの長期化観測が後退したため、株価は持ち直しました。期の後半は、中国の主要な経済指標が総じて市場予想を下回り、同国の景気減速が懸念されたことが欧州景気を下押しするとの思惑につながり、株価の下押し要因となりました。その後はFOMCを経て欧米金利が上昇する中、株価は一段と下落しました。

ドイツ株価指数（DAX）の推移



当作成期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。期の前半は、日銀の植田新総裁が現行の金融緩和策を当面は継続する方針を示したことや、米国の債務上限問題を巡って与野党が合意できるとの楽観が広がったことなどが、米ドル高・円安の要因となりました。期の半ばは、米国の堅調なマクロ動向と、日銀の金融緩和継続姿勢により米ドル高・円安が加速しましたが、日銀の大規模な金融緩和政策の修正観測が浮上すると、一時米ドル安・円高が大きく進みました。期の後半は、原油先物価格が上昇し、米国のインフレ圧力が高まるとの見方が広がったことや、FOMCを経てFRBのタカ派姿勢が再確認されたことなどから米国国債利回りが上昇し、日米金利差の拡大が意識されたことで、米ドルは対円で上昇しました。その後、「介入ライン」として意識される1米ドル=150円を付ける場面もありましたが、その直後には円高が進むなど、荒い値動きがみられました。



当作成期のユーロ・円相場は、ユーロ高・円安となりました。期の前半は、ECB高官から利上げの継続に前向きな発言が相次いだことなどから、ユーロ高・円安が進みました。その後、米地方銀行の経営を巡る不透明感に市場への関心が向かった場面では、リスク回避姿勢の強まりからユーロ売り・円買いが優勢となりました。期の半ばは、ユーロ圏と日本の金融政策の方向性の違いに着目したユーロ買い・円売りが強まりました。ただその後は、ECBによる利上げの継続がユーロ圏景気を冷やすとの懸念が広まり、ユーロ売り・円買いがやや優勢となりました。期の後半は、ECB理事会を経て利上げサイクルの終了が意識されたことや、日本の政府・日銀による為替介入への警戒感が強まったこと、ユーロ圏景気の相対的な弱さが懸念されたことなどから、ユーロは対円で上値の重い動きとなりました。



当ファンドのポートフォリオ

（2023年4月11日～2023年10月10日）

当ファンドは、主として「フランクリン・templton・グローバル債券マザーファンド」（以下、債券マザーファンド）および「フランクリン・templton・グローバル株式マザーファンド」（以下、株式マザーファンド）受益証券への投資を通じて、外国の公社債および株式に投資を行い、中長期的に信託財産の安定した成長を目指して運用に努めてまいりました。基本投資割合は、純資産総額に対して債券マザーファンド70%、株式マザーファンド30%を目安とします。マザーファンドへの投資割合が基本投資割合から一定の範囲を超えた場合には、組入比率の調整を行います。また、実質組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

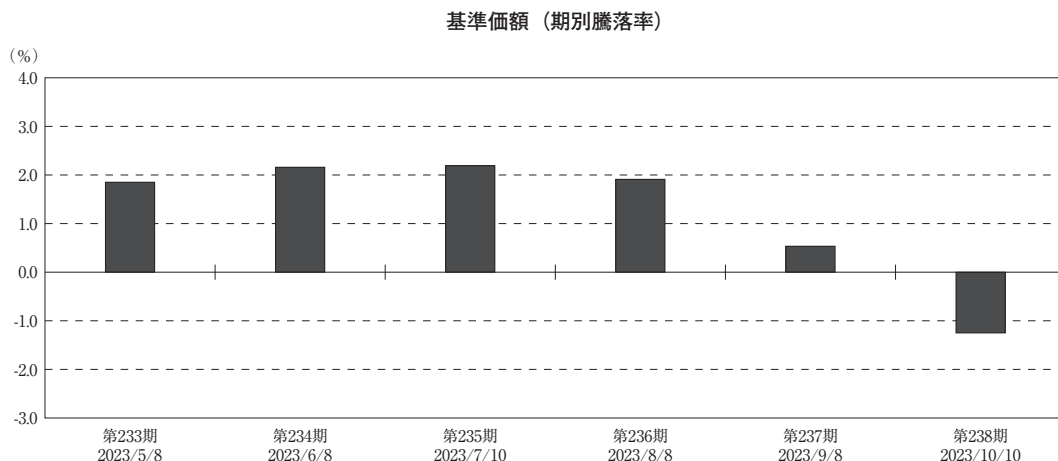
当作成期の運用においては、債券マザーファンドでは米ドル建およびユーロ建の国債を中心とした組み入れを継続しました。格付別では、AAA格の組入比率を引き続き高位に保ちました。株式マザーファンドでは、米国および欧州の主力優良銘柄を中心に、投資魅力度が高いと判断した銘柄を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2023年4月11日～2023年10月10日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

（2023年4月11日～2023年10月10日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入および保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第233期	第234期	第235期	第236期	第237期	第238期
	2023年4月11日～ 2023年5月8日	2023年5月9日～ 2023年6月8日	2023年6月9日～ 2023年7月10日	2023年7月11日～ 2023年8月8日	2023年8月9日～ 2023年9月8日	2023年9月9日～ 2023年10月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 0.141%	15 0.138%	15 0.136%	15 0.133%	15 0.133%	15 0.135%
当期の収益	15	15	15	13	15	3
当期の収益以外	-	-	-	1	-	11
翌期繰越分配対象額	1,571	1,578	1,658	1,854	1,899	1,887

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドにおきましては、これまでと同様に、マザーファンドを通じて外国債券および外国株式に投資を行い、中長期的に安定した信託財産の成長を目指すと同時に、引き続き毎月の分配金を享受していただくことができますよう、運用に注力していく所存です。

お知らせ

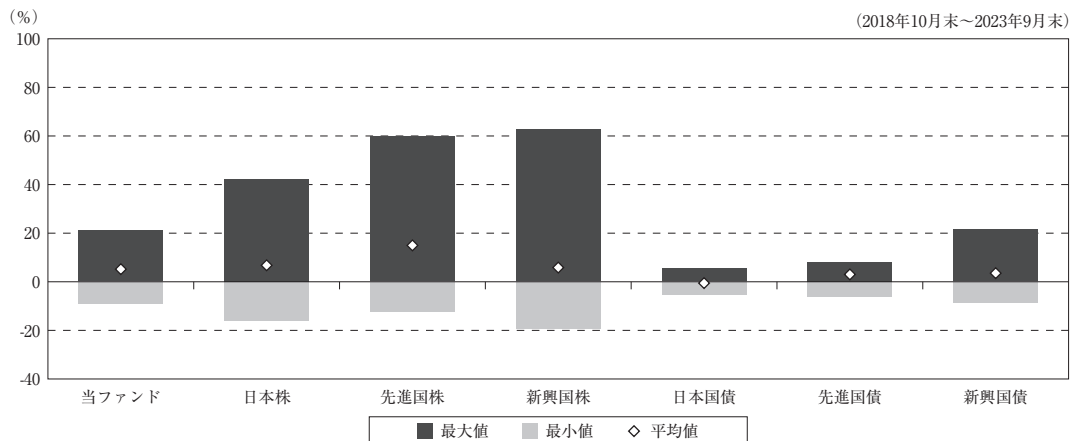
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	無期限（2003年12月8日設定）	
運用方針	主として外国の公社債及び株式に投資を行うことにより、毎月の分配と中長期的な信託財産の安定成長を目指した運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	フランクリン・テンブルトン・グローバル債券マザーファンド、フランクリン・テンブルトン・グローバル株式マザーファンドの各受益証券を主要投資対象とします。
	フランクリン・テンブルトン・グローバル債券マザーファンド	日本を除く適格国通貨建ての確定利付証券（モーゲージ証券および資産担保証券を含む）を主要投資対象とします。 「適格国」とは、OECD加盟国および非加盟国のうちA－またはA3以上の政府債務格付を有する国をいいます。
	フランクリン・テンブルトン・グローバル株式マザーファンド	主として日本を除く世界各国の証券取引所上場株式・店頭登録株式を主要対象とします。
運用方法	当ファンド	株式（新株引受権証券等を含みます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の40%以内とします。同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	フランクリン・テンブルトン・グローバル債券マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権を行使した場合に限ることを原則とします。 外貨建資産への投資割合には、特に制限を設けません。
	フランクリン・テンブルトン・グローバル株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として毎月8日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	21.3	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 9.2	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	5.2	6.8	15.0	5.9	△ 0.6	3.0	3.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年10月から2023年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(※) 各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2023年10月10日現在）

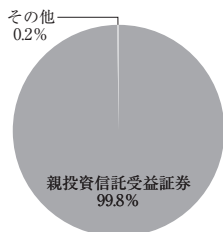
○組入上位ファンド

銘柄名	第238期末
	%
フランクリン・templton・グローバル債券マザーファンド	66.0
フランクリン・templton・グローバル株式マザーファンド	33.8
組入銘柄数	2銘柄

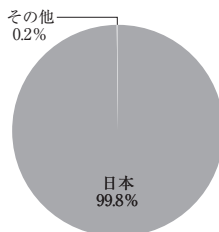
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

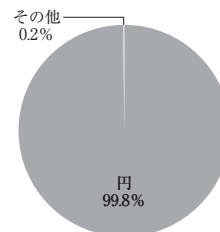
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

項目	第233期末	第234期末	第235期末	第236期末	第237期末	第238期末
	2023年5月8日	2023年6月8日	2023年7月10日	2023年8月8日	2023年9月8日	2023年10月10日
純資産総額	23,952,757,107円	24,214,271,659円	24,407,842,519円	24,600,726,028円	24,421,111,212円	23,940,341,173円
受益権総口数	22,581,897,334口	22,377,295,786口	22,102,250,627口	21,888,021,953口	21,643,169,522口	21,514,479,715口
1万円当たり基準価額	10,607円	10,821円	11,043円	11,239円	11,284円	11,128円

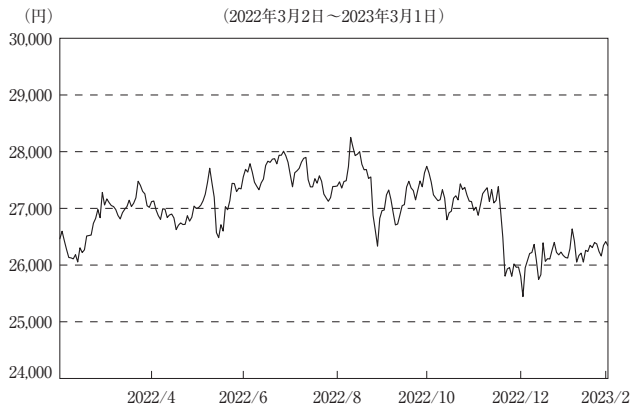
* 当作成期間（第233期～第238期）中における追加設定元本額は83,866,702円、同解約元本額は1,272,209,742円です。

組入上位ファンドの概要

フランクリン・templton・グローバル債券マザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年3月2日～2023年3月1日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年3月2日～2023年3月1日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	2 (2)	0.008 (0.008)
(b) その他費用 (保管費用)	4 (4)	0.014 (0.013)
(監査費用)	(0)	(0.001)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	6	0.022

期中の平均基準価額は、27,024円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2023年3月1日現在)

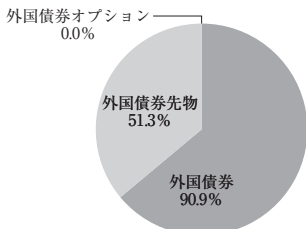
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 US TREASURY NOTE 0.375% 2026/1/31	国債証券	米ドル	アメリカ	31.4
2 米国国債(5年)2023.6限月	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	15.2
3 BUNDES REPUBLIC DE 0% 2031/2/15	国債証券	ユーロ	ドイツ	8.8
4 米国国債(10年)2023.6限月	債券先物(売建)	米ドル	アメリカ	7.9
5 ドイツ国債(10年)2023.3限月	債券先物(買建)	ユーロ	ドイツ	7.7
6 BUNDES REPUBLIC DE 0.5% 2027/8/15	国債証券	ユーロ	ドイツ	7.5
7 米国国債(20年)2023.6限月	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	6.8
8 ドイツ国債(30年)2023.3限月	債券先物(売建)	ユーロ	ドイツ	4.1
9 MEXICAN BONOS DESARR FIX 7.75% 2042/11/13	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	4.0
10 US TREASURY NOTE 0.75% 2026/4/30	国債証券	米ドル	アメリカ	3.9
組入銘柄数		52銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

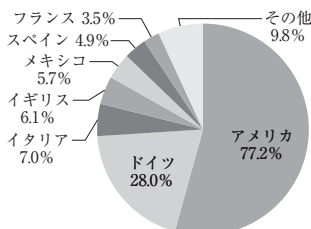
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

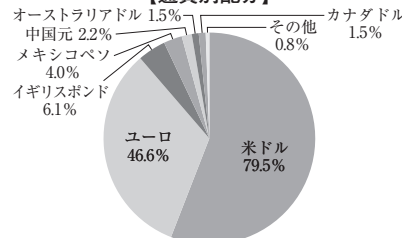
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産(現金等を除く)の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 先物の比率は絶対値ベースで記載しております。

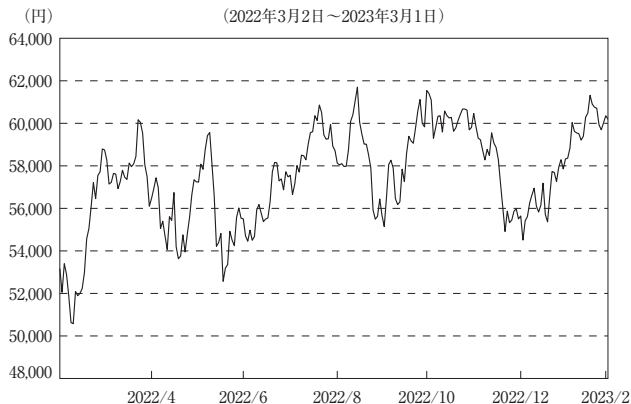
(注) 通貨別配分は組入資産(現金等を除く)を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

フランクリン・templton・グローバル株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年3月2日～2023年3月1日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年3月2日～2023年3月1日)

項目	当期	
	金額 円	比率 %
(a) 売買委託手数料 (株 式 信 託 証 券)	59 (58) (1)	0.102 (0.101) (0.001)
(b) 有価証券取引税 (株 式 信 託 証 券)	8 (8) (0)	0.013 (0.013) (0.000)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他) (そ の 他)	18 (16) (1) (1) (0)	0.030 (0.028) (0.001) (0.001) (0.000)
合 計	85	0.145

期中の平均基準価額は、57,839円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2023年3月1日現在)

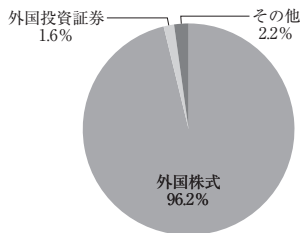
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 APPLE INC	情報技術	米ドル	アメリカ	5.6%
2 MICROSOFT CORP	情報技術	米ドル	アメリカ	2.9%
3 EXXON MOBIL CORP	エネルギー	米ドル	アメリカ	2.1%
4 ALPHABET INC-CL C	コミュニケーション・サービス	米ドル	アメリカ	1.7%
5 NOVO NORDISK A/S-B	ヘルスケア	デンマーククローネ	デンマーク	1.7%
6 COSTCO WHOLESALE CORP	生活必需品	米ドル	アメリカ	1.5%
7 BP PLC	エネルギー	イギリスポンド	イギリス	1.4%
8 ASML HOLDING NV	情報技術	ユーロ	オランダ	1.4%
9 UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア	米ドル	アメリカ	1.3%
10 LOWE'S COS INC	一般消費財・サービス	米ドル	アメリカ	1.3%
組入銘柄数		100銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

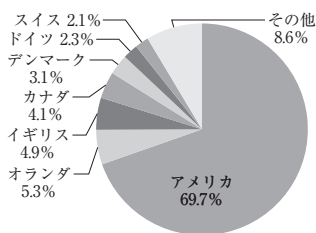
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

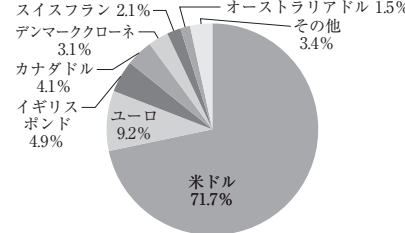
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産(現金等を除く)の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産(現金等を除く)を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。